

原子力発電所特別委員会
監視体制整備対策分科会会議録

1 日時 昭和 44 年 10 月 14 日（委員会休憩時間中）

2 場所 第 2 委員会室

3 出席委員 渡辺 勉君 内藤哲夫君
本間正平君 黒崎秀夫君
関矢尚三君 石黒武久君
村田実義君

以上 7 人

4 欠席委員 浅野重栄門君 西沢亮衛君

以上 2 人

5 事務局職員 局長 近藤正栄君

6 事件 (1) 主査の立選

(2) 副主査の立選

7 署名委員 黒崎秀夫君 石黒武久君

8 開議 午後 0 時 37 分

9 議事の経過概要

(1) 主査の互選

年長委員本間正平君が主査の職務を行なう旨、事務局長より紹介があり、年長委員より主査の互選の方法をはかった。

村 田 委 員 投票で選んだがよい。

（「賛成」と呼ぶ者あり、投票と決定）

投票を終え開票立会人に年長委員より関矢尚三君及び村田実義君を指名した。

年 長 委 員 投票の結果を報告します。

投票総数 7 票

関矢尚三君 4 票 内藤哲夫君 3 票。以上のとおりで関矢尚三君が当選しました。ご承諾願います。

（関矢尚三君は起立し就任のあいさつをした。）

(2) 副主査の立選

関 矢 主 査 副主査の立選の方法はどのようにしたらよいか

（「主査の指名」と発言する者多し）

関 矢 主 査 指名推せんとのことでありますので、そのように決定いたします。
副主査には黒崎秀夫君を指名いたします。ご承諾を願います。
(黒崎秀夫君は起立し、就任を受諾した。)

関 矢 主 査 折角の機会でありますので、なにか本分科会のことについて発言がありましたらどうぞ。

石 黒 委 員 原発の荒浜の現地をバスで1時間か1時半位で視察したい。

村 田 委 員 10月8日の長岡の研修会の帰りに見てきた。

石 黒 委 員 私は長岡に不参加でしたので、希望者があればその機会に譲って結構です。

本 間 委 員 近い中に是非敦賀を視察したい。予算は12月議会でなければ駄目か。

事 務 局 長 臨時会がない限り12月定例会まで待たなければならない。

関 矢 主 査 予算もないことですから視察はこの次の機会に、また、石黒さんの本日の現地視察は又の機会にさせていただきたい。(石黒委員は了承した。)

本 間 委 員 きょう突然にこのような重大問題の具体的スケジュールと言われても困る。改めて分科会を開いて協議したらどうか、きょうはこの程度にとどめてもらいたい。「賛成」と発言する者あり)

関 矢 主 査 本日の分科会はこの程度にとどめ散会いたします。

10 散会 午後0時45分

議会委員会条例第23条第1項の規定に準じ、ここに署名する。

原子力発電所特別委員会監視体制整備対策分科会

年長委員	本間正平
主査	関谷尚三
署名委員	黒崎秀夫
署名委員	石黒武久